



# ろうさい病院つうしん

発行所：中部ろうさい病院

〒455-8530 名古屋市港区港明1-10-6 TEL：052-652-5511  
<https://www.chubuh.johas.go.jp/> FAX：052-653-3533

## 当院の理念

納得、安心、そして未来へ

## 当院の基本方針

- ・医療の質の向上と安全管理の徹底
- ・生命の尊厳の尊重と患者さん中心の医療
- ・人間性豊かな医療人の育成と倫理的医療の遂行
- ・地域社会との密な連携と信頼される病院の構築
- ・災害・救急医療への積極的な貢献と勤労者に相応しい高度医療の提供

## 副院長および脳神経外科部長 就任のご挨拶

副院長 小島 隆生

2025年4月より副院長および脳神経外科部長を拝命いただきました。

5名の若手・中堅の脳神経外科医師とともに、新たなチームを組んで診療を開始しています。

脳血管障害に対する診療を中心に行っており、特にカテーテルを用いた脳神経血管内手術を専門として診療経験を積んできました。

愛知県内で脳神経外科診療に従事していましたが、2017年から8年間は縁があって福島県に異動して、福島県立医科大学脳神経外科学講座に所属していました。大学病院における高度先進医療に携わるとともに、脳卒中を対象とした地域医療にも取り組んできました。日本の中でも高齢化が進んでいる地域において、東日本大震災が及ぼした影響は甚大で、14年経過した現在でも住民の健康に関する課題は多く残っています。脳卒中の急性期診療では、迅速な診断と治療がその予後に大きく影響するため、課題を解決すべく脳卒中診療に従事する医師・医療スタッフの育成と、各診療圏における医療機関の相互連携の構築に取り組んできました。

中部ろうさい病院では、今までの経験を活かして名古屋市南部の地域医療に貢献するとともに、知識、技術、倫理性を備えた医療人を育成できるよう努力したいと考えています。

どうぞよろしくお願いいたします。



# 脳神経外科部長就任のご挨拶

脳神経外科部長 長倉 正宗

新年度がスタートし、皆さま方におかれましては益々ご活躍の事と思います。

令和7年4月より第二脳神経外科部長を拝命致しました長倉正宗です。よろしくお願ひします。



私は刈谷豊田総合病院で初期研修と脳神経外科後期研修を行い、その後名古屋大学医学部附属病院、一宮市立市民病院勤務を経て、あいち小児保健医療総合センターで小児脳神経外科医師として10年間研鑽を積んで参りました。小児領域においては、何十年も続く患児の人生を想定した医療体制を構築する事が重要です。地域の先生方のお力添えが無くてはとても成り立たません。念密な情報共有と連携の上で、地域の先生方には時間的にも空間的にも診療の中核を担っていただいております。

成人医療においても多様性が重視される現在では、患者さんひとりひとりを尊重した医療体制の構築が望まれます。私は脳神経外科医として急性期医療を担う身ではありますが、地域の皆さまに適切でより良い医療を継続的に提供できるよう、近隣の先生方としっかりと連携させて頂きたいです。何卒ご支援のほどを賜れますよう、お願い申し上げます。

久しぶりに成人医療に携わる事となり、先生方にご迷惑をおかけする事もあるかと存じます。皆さまのお力添えを頂きながら、この地域の皆さまの健康の為に尽力させて頂きます。



# 腎臓内科部長就任のご挨拶

腎臓内科部長 尾関 俊和

このたび、2025年4月1日付で中部ろうさい病院腎臓内科部長を拝命いたしました、尾関俊和と申します。どうぞよろしくお願いいたします。



私は2011年から2017年までの6年間、初期研修医として、また腎臓内科医としてこの中部ろうさい病院に勤務し、多くの先生方、スタッフの皆さま、そして患者さんから多くのことを学ばせていただきました。その後、他院での研鑽を積み、このたび再び縁をいただき、戻ってくることとなりました。再び皆さまと共に働けることを、大変嬉しく、また身の引き締まる思いであります。

腎臓内科は、高血圧や糖尿病性腎症、慢性腎臓病（CKD）をはじめとする疾患に対し、長期的な管理が求められる診療科です。透析患者さんも高齢の方が増加しており、患者さん一人ひとりに最適な医療を提供し、QOLの向上を目指すことが私たちの使命だと考えております。

今後は、これまで培ってきた経験を活かし、腎臓内科の診療体制の充実、院内外の連携強化、そして若手医師の教育にも尽力してまいります。

患者さんにとって安心できる診療環境を提供するとともに、職員の皆さまと協力し、より良い医療を実現できるよう努力してまいりますので、何卒ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



# 病理診断科部長就任のご挨拶

病理診断科部長 川井 久美

皆さま、初めまして。令和7年4月より病理診断科部長に着任いたしました川井久美と申します。これまで県内のいくつかの大学および複数の病院で診療、教育などに携わってまいりました。しかし地域医療の中核を担う当院における部長の職責の重さに身の引き締まる思いを感じております。



病理診断科は直接患者さんに対面して医療サービスを提供することはできませんが、当院が質の高い医療を提供するための後方サポートを担っていると考えます。院内のすべての診療科の皆さまとの連携・協力なくしては成り立たない部門です。各診療科で安心して医療を行えるよう、正確でわかりやすい病理診断を提供するように誠心誠意努力してまいります。

がんゲノム医療の進歩が目覚ましい今日、一人一人の患者さんに最適な治療を提供することが可能となってきました。先生方が適切な治療を選択するための最適な情報を提供できるかどうか、病理部門の真価が問われる時代とも言えます。そして正確な病理診断には皆さまのご協力と情報共有いただくことが欠かせません。当院の掲げる「地域社会との密な連携と信頼される病院の構築」に貢献するためにはまず院内の皆さまに信頼されることが第一と心得ます。前部長の加藤一夫医師も引き続き診療にあたってくださいることになっており、一緒に親しみやすく開かれた病理を目指してまいります。

皆さまどうぞよろしくお願い申し上げます。





# 中央放射線部長就任のご挨拶

中央放射線部長 橋本 貴生

皆さま、こんにちは。4月1日付で中央放射線部長に着任いたしました橋本貴生と申します。出身は京都です。関西ろうさい病院(兵庫県尼崎市)に長年勤務し、富山ろうさい病院(魚津市)で2年間管理職としての経験を経て、今年度から中部ろうさい病院で勤務させていただくことになりました。微力ながら、これまで



培ってまいりました知識と経験を活かし地域の医療機関の先生方との連携をより一層深め、患者さんにとって質の高い、納得し安心できる医療を提供できるよう努めてまいりたいと存じます。

そのために、様々な専門性を持つスタッフが連携し、風通しの良い、互いを尊重できる、安心して業務に取り組める働きやすい職場環境の整備を進めていくことが質の高い医療提供の基盤になると考えております。

近年、医療技術は目覚ましい進歩を遂げており、AI技術を搭載した放射線診断装置や放射線治療装置においても同様です。当院では今年度にX線TV装置および高精度の放射線治療装置の更新を行うとともに、専門性の高いスタッフを揃え先生方のニーズに対応できるよう学会、症例検討会や勉強会などの情報を共有し体制を整えていきます。今後は先生方からご紹介いただいた患者さんの検査・治療目的に合った最善の画像や治療を迅速・丁寧・確実に提供できるようスタッフ一同精進していきたいと思っております。

今後とも、皆さま方から特段のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



# 中央リハビリテーション部長 就任のご挨拶

中央リハビリテーション部長 門田 隆

陽春の候、皆さまにおかれましては益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

4月より中央リハビリテーション部長となりました門田隆と申します。

私は、愛知県尾張旭市にある旭ろうさい病院から異動にて、門司メディカルセ

ンター、東京ろうさい病院、釧路ろうさい病院、富山ろうさい病院から、中部ろ

うさい病院に着任しました。今までは、全て地域包括ケア病棟を持つ慢性期型病院で、前任の富山で

は令和6年診療報酬改定により新設された地域包括医療病棟についても検討してきました。当院のよ

うな急性期病院は初めての勤務となります。当院に勤務して短時日ですが、患者さんの特殊な病態や

在院日数の短さなどに驚いています。リハビリテーションとしては急性期も慢性期も変わらない、機

能改善を目指した患者さんの早期回復と合併症のリスクの減少、チーム医療を組み、患者さんの状態

に応じた包括的なケアを提供することなどをリハビリテーション医師の下に取り組んでまいります。

当院は、東海地区随一の規模を誇るリハビリテーション施設を有していること、整形外科と連携して、

東海地方の脊椎、脊髄損傷のセンター的役割を果たしていることで、多くの患者さんの社会復帰に貢

献していることを知りました。そのような病院で働けるこ

とを誇りにこれからも精進してまいります。リハビリテー

ション部のみならず、他部署の方々にもお役に立てるよう

に努力していきますので、よろしくお願いいたします。

